

1. 主題構成表

主題名「よりよい社会を目指して」(中学校・第二学年) 資料名「住みよい社会に」(編集委員会)

<p>■ 内容項目 C (12)</p> <p>「社会参画, 公共の精神」</p> <p>社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め, 公共の精神をもって, よりよい社会の実現に努めること。</p>	<p>■ 価値の分析</p> <p>・平和で民主的な社会を築くためには, 社会を構成する一人一人が社会生活において, 共に手を携え, 協力し, 互いに安心して生活できる社会を創っていかうとすることが求められる。このことを自覚することから, 自分たちが社会の一員としてよりよい社会の実現の為に能動的に行動し, 貢献する意識を育てていくことの重要性に気づくことが出来る。</p>	<p>■ 資料の分析</p> <p>・本資料は, 防犯カメラによって, 犯罪やマナー違反行為が抑止されていることに関わる新聞記事を取り上げ, 監視することによって直接的に罰することが出来ることより, 見られている意識によって, マナーの向上が見込める, という趣旨の話が展開されている。</p> <p>・マナーがカメラによって監視されていることを考え, よりよい社会の実現には社会連帯の自覚や公共の精神が必要であることに気付かせる。</p>
<p>■ 内容項目から見た生徒の実態 (意識)</p> <ul style="list-style-type: none">・委員会や係の仕事について意欲的に取り組むことは出来るが, 自ら考えたことを実行したり, 周囲に伝えたりする力は弱い。・笑ってごまかしたり, 自分の責任でないことを強調するような言い訳をしたりすることが多い。 <p>(要因)</p> <ul style="list-style-type: none">・自ら動いたことによる成功経験の少なさ。・叱られ経験の少なさからくる, 叱られることへの忌避。		
<p>■ ねらい</p> <p>マナーがカメラに監視されることについて話し合い, 社会連帯の自覚を高め, 公共の精神をもって, よりよい社会の実現に努める態度を高める。また, 一つのコミュニティの中で, 相互に理解を深め, 信頼関係を築く中でよりよい社会の実現が成される事を理解させる。</p>		
<p>■ 展開の構想</p> <ul style="list-style-type: none">・カメラによって防がれる犯罪やマナー違反について取り上げ, 肯定的な感覚を持たせるようにする。・自分たちの生活の中にカメラを入れることを想定させ, それに対する感覚を問う中で, よりリアルに自分たちのマナーが防犯カメラによって監視されることについて考える。・カメラがあってもなくても, 自らの意思で社会に貢献するための行動を起こすことができる, ということが重要であることに気付けるようにする。	<p>■ 基本発問 (◎中心発問)</p> <ul style="list-style-type: none">○「住みよい社会」とはどのような社会だと思いますか。○一般社会において, 防犯カメラや車載カメラなどで監視されることをどう思いますか。○学級に防犯カメラを設置することをどう思いますか。◎「住みよい社会」とはどのような社会だと思いますか。	

2. 本時の展開

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	<p>○「住みよい社会」とはどのような社会だと思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して生活することが出来る。 ・事故がない ・犯罪がない ・争いがない など 	<ul style="list-style-type: none"> ・数人の生徒の意見を聞き、漠然としたイメージしか持てないことを自覚させる。
展開前段	<p>◇資料提示をし、CDで範読する。(5分10秒)</p> <p>○一般社会において、防犯カメラや車載カメラなどで監視されることをどう思いますか。(円グラフの活用) 賛成 or 反対 プリントへの記入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心して生活できる。 ・犯罪が減るので良い。 ・いざという時に役に立つ。 ・全部録画されているのは少し嫌。 	<ul style="list-style-type: none"> ・範読後、自分の考えをまとめるための補助として円グラフを活用し、「賛成」「反対」の度合いを問う。 ・幅広い考えを拾いすぎると收拾が付かなくなるので、この話題では広げすぎない。
展開後段	<p>○学級に防犯カメラを設置することをどう思いますか。 (円グラフの活用) 賛成 or 反対 プリントへの記入 → 班交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・信頼されていない気がする。 ・ずっと見られているのは不愉快。 ・あると落ち着かない。 ・いざというときには役に立つ。 ・クラス内のトラブルが減る。 <p>→学級も社会の一つと考えると、より良い学級を作ることはよりよい社会を作ることにつながる。</p> <p>◎「住みよい社会」にするにはどうすれば良いと思いますか。 班交流(ホワイトボードにまとめる) → 学級交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに理解し合う。 ・声を掛け合って、行動をする。 ・思いやりの心をもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・円グラフの反対が増える生徒がほとんどであると思われるので、その理由を考えさせたい。 ・「賛成」「反対」の理由を丁寧に拾い出し、学級という一つの「社会」と、外の「社会」を関連付けて捉えられるようにする。 ・クラスの中の「安心」と社会の中の「安心」を関連付けて考え、「自ら率先して行動する」「コミュニティの全員が社会貢献をしようという意識を持つ」ことで、住みよい社会が創られることに気付かせる。
終末	<p>◇プリントに今日の道徳の感想を書かせ、感想交流</p> <p>◇担任の説話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この学級は社会の一部であり、この学級の中における「住みよい社会」は外の社会の中における「住みよい社会」につながっている。こうした道徳の時間にみんなで様々な考えを「伝えあい」、共に考えるような活動を積み重ねていき、より良い学級をみんなで作っていくことが将来の自分たちの社会での動き方の礎になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感想交流は数人あてて発表させる程度にとどめる。 ・評価の観点 よりよい社会の実現の為に自分ができることを考えている。(ワークシート)